


団体の概要書

団体名	(ふりがな) ほうじん こくさい おおさか じさつぼうし NPO 法人 国際ピフレンダーズ 大阪 自殺防止センター		
主たる事務所の所在地	〒552-0021 大阪市港区築港 2 丁目 8-24-309 piaNPO 内		
代表者氏名	(ふりがな) すごう こうぞう 菅生 浩三	構成員数	100 人
設立(活動開始)年月	1978 年 1 月	NPO 法人 認証年月	2000 年 4 月
主な活動地域	大阪市内ほか		
ホームページの有無	有 URL http://www.spc-osaka.org/		
団体の設立経緯	<p>1979 年(昭和 53 年)1 月 20 日に相談活動を開始した自殺防止センターは、人生における苦悩、孤独、絶望、抑うつにより、自殺の危機が迫っている人に対し、24 時間耳を傾け、寄り添って一定期間友達であり続ける(ピフレンディングという)ことにより感情的な支援を提供し、自殺を防止するとともに、自殺の危機を認識し対処する方法を広く社会に知らせることを目的として設立された。</p> <p>社会情勢、人間関係の複雑化により自殺者数は減少せず、近年は不況やリストラ等の影響で中高年の自殺が目立っている。自殺防止センターが電話、手紙などで相談活動を続け、少しでも自殺防止に役立ちたいと願っている。</p> <p>自殺防止センターは発足当時から英国の相談機関サマリタンズと交流を持ち、同機関を含む国際ピフレンダーズ(41 カ国、340 支部)に加盟して国際的に活動するほか、社会貢献活動のより一層の発展を願い、NPO 法人の認証を申請し 2000 年(平成 12 年)4 月に認可された。</p>		
これまでの主な活動実績	<p>①自殺防止のための 30 年間 24 時間 365 日休まない電話相談(2006 年度: 14,761 件)</p> <p>②同上、手紙による相談</p> <p>③自死遺族(自殺により家族を失った方)のための集いの開催(月 1 回: 1 回あたり約 20 人が参加)</p> <p>④自殺防止のための広報活動(2006 年 9 月には市内、府内の学校に自殺防止を呼びかけ、また当センターの電話番号を周知するポスターを配布。A 4 三つ折のパンフレット 5,000 部を地下鉄、私鉄の駅に設置。9 月 10 日の世界自殺予防デーには、大阪市が主催するキャンペーンに参加。)</p>		
事業年度	4 月 1 日 から 3 月 31 日		
活動分野	※下表「活動分野別リスト」の番号をご記入ください。 1		

【活動分野別リスト】

1 保健・医療・福祉の増進	7 地域安全	13 科学技術振興
2 社会教育の推進	8 人権擁護・平和の推進	14 経済活動活性化
3 まちづくりの推進	9 国際協力	15 職業能力開発・雇用機会拡充
4 学術・文化・芸術・スポーツ振興	10 男女共同参画	16 消費者保護
5 環境保全	11 子どもの健全育成	17 市民活動支援
6 災害救助	12 情報化社会	

貴団体の活動において、NPOならではの特性を活かしている点	電話相談員や活動支援ボランティア(広報、募金などを担当)全員がNPOの会員であり、総会に出席して事業計画、予算・決算の議決など活動の根幹に直接参画しており、ボランティアの意向を反映して活動を推進している。
貴団体の活動を多くの市民に周知するために行っていること	ポスターの掲示やパンフレットの配布、また自殺防止キャンペーンへの参加を通して当センターの活動や相談電話番号の周知を図っている。
貴団体の活動における現在の課題	優れた相談員の養成と安定した財源の確保
貴団体の活動の将来展望	電話相談員の増員を図り、また継続した研修を実施して、より安定、充実した相談活動を行うこと、さらにより一層幅広く広報活動を展開することにより、自殺者数の減少に努める。
当基金に登録を希望する理由	相談員の活動はすべて無償であるが、活動の拠点である事務所や養成講座や研修を開催する会議室を使用する費用、また事務局員の報酬の財源は、主に寄付で負うところであるが、設立当初からの寄付者の高齢化などにより、財源確保が不安定となっているため。
貴団体が当基金をPRするためにできること	ポスター、パンフレットなどの広報媒体や、支援者など対象とする季刊の活動ニュースまた毎年発行し各方面に配布する年度報告書に、大阪市民活動推進基金の助成対象団体であることを記載し、貴基金の存在や役割を周知する。
市民に対するPR	※市民に向けPRメッセージをお書きください。 孤独な高齢者、経済問題を抱える中高年、不安定な青少年などあらゆる世代の市民が、相談することにより自殺年慮から解放され、健康な生活を取り戻していただきたい。またボランティアとして当センターで相談活動をともにすることによって、生きがいあふれる人生を送っていただきたい。
確認事項	この申請書に記載する事項に間違いありません。 代表者氏名 菅生 浩三  (氏名自署の場合は印不要)